

「市政改革プラン3.0」に基づく取組等

取組項目1

【職員生産性の向上】



計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・人員マネジメントを適切に行いながら、スリムで効果的な業務執行体制を確立し、生産性の向上を図る。 (取組の概要) ・業務の委託化や見直しを積極的に推進することで、効率化を図り、人員削減に取り組む。 ・一方で、事務・技術職員の年齢構成の平準化を図るため、計画的な採用に取り組む。 (目標) ・平成29年5月1日時点の職員数(1,388人)から、10年間(令和9年度まで)で200人以上を削減する。	(取組の内容) 【業務効率化の実施等】 ・浄水場における維持管理業務や水道センターにおける給配水設備維持管理業務について、技能職の転活用を図りつつ、委託化等により効率化を推進する。 【年齢構成の平準化】 ・新規採用者の確保  (目標) ・新規採用者を確保しつつ、令和4年5月1日職員数を1,290人以下にする。

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成	

取組項目2

【企業債残高の削減】



計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・経営基盤強化のため、企業債残高を削減する。 (取組の概要) ・企業債の新規発行を抑制し、償還に努める。 (目標) ・企業債残高の指数である「給水収益に対する企業債残高割合」(以下、指数という)が、事業規模が比較的近い4都市平均である概ね2倍程度の水準になるよう、平成29年度末残高から今後10年間で企業債残高を400億円以上削減する。 令和9年度末目標残高:1,079億円以下(指数190%) [平成29年度末残高:1,479億円]  <<参考>>平成28年度末決算指数 大阪市…277% 4都市平均…192% ※4都市:本市と同等の概ね給水人口200万人以上の類似都市 札幌市・東京都・横浜市・名古屋市	(取組の内容) ・企業債の新規発行を抑制するとともに、着実に償還を行う。  (目標) ・平成29年度末残高(1,479億円)から450億円以上の削減をめざす。  <<参考>> 令和2年度末見込残高:1,097億円

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成	

取組項目3

【有収率の向上】



計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・これまで局経営改革や局経営戦略のもと、必要な事業の選択と集中、業務の委託化・効率化等に取り組み、できる限りの削減を行ってきた。 ・今後は委託化の進展や委託にかかる労務単価の上昇等により、一定増加が見込まれる。 (取組の概要) ・有収率の向上(漏水量の減少)による経費の削減に取り組むことで、物件費等の増加をできる限り抑制する。 (目標) ・94%以上(令和9年度) 「有収率」の大都市平均を上回る水準をめざす。 ※大都市平均:93.6%(平成30年度) <<参考>>2019(令和元)年度末決算指数 91.5%		(取組の内容) ・有収率向上緊急3ヵ年計画プロジェクトチームのもと、有収率の向上(漏水量の減少)による経費の削減に向け、緊急3ヵ年計画に基づき以下の取組を推進する。 【具体的な取組内容】 ・二次配水ブロックをベースとした給水量分析 ・計画的漏水調査 ・鉛給水管の取替促進 (目標) ・有収率 92%以上

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成		

取組項目4

【資産の有効活用】



計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・「局資産の転活用にかかる基本計画」(平成19年7月策定)等に従い、未利用地の売却及び貸付等による有効活用を行う。 (取組の概要) ・未利用地の貸付及び売却により事業外収益の確保に努める。 (目標) ・100億円以上の収入を確保(平成30年度→令和9年度)		(取組の内容) ・引き続き、未利用地の貸付及び売却により事業外収益の確保に努める。 (目標) ・売却収入及び貸付賃料を合わせて5.5億円以上の収入確保を図る。 ※売却収入・・・1.8億円 貸付収入・・・3.7億円

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成		

取組項目5

【未収金の回収に向けた取組】



計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・水道料金の既存未収金を解消し、かつ新たな未収金の発生を抑制することで、安定した収益確保を図る。 (取組の概要) ・滞納者の状況に応じ、柔軟で効果的な手法を用いた未納整理業務を実施する。 (目標) ・収入率 99%以上を維持する。		(取組の内容) ・滞納者に対しては、公正・厳格に督促及び給水停止を行う。 ・支払能力のある滞納者に対しては、法的措置など様々な手段を行使して未収金を回収する。 ・料金徴収業務委託業者と連携して、計画的・効率的な督促を実施する。 ・未収金回収特別チームにおいて、長期・高額の未収金回収を図る。 ・共同督促の実施など、建設局と連携して未収金回収を図る。  (目標) ・令和3年度分の収入率(令和4年5月末時点)について 99 %以上を維持する。

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成		